

## 教育講演1「医療安全」EL1 安心な医療につながる「やさしい日本語」

有賀麻輝江

国際医療福祉大学人事部人事研修室

### 【はじめに】

「やさしい日本語」とは、相手に合わせてわかりやすく伝える日本語をいう。患者の症状や状態を正しく理解することが、正しい診断へと導き、その結果、安全で適切かつ患者が満足する安心な医療となる。講演では外国人や高齢者に対して「やさしい日本語」で対応する重要性を伝えた。

### 【現状と課題】

在留外国人に対する調査で「日本人の話す日本語がわからなくて困る場面」の第1位が「病院で医師と話すとき」(58.4%)であった<sup>1)</sup>。

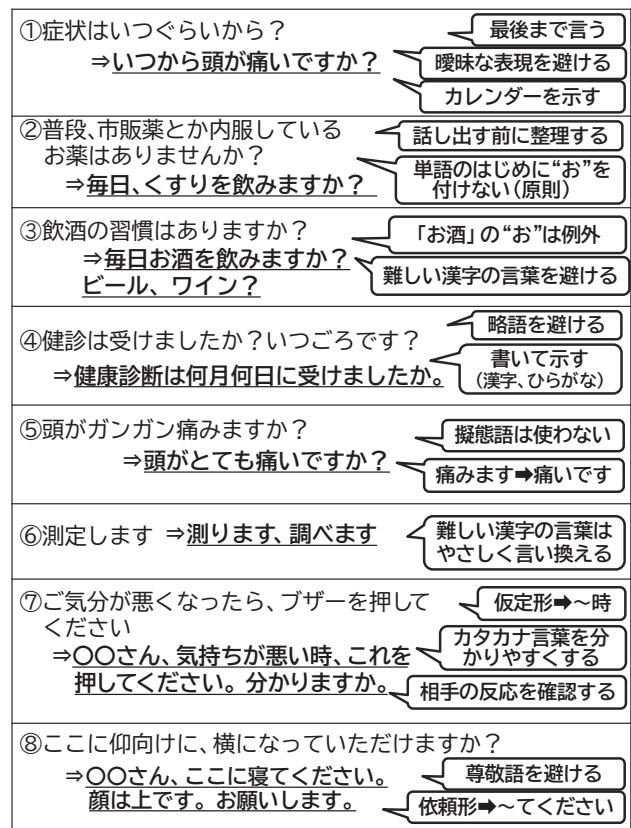
英語以外を母語とする在留外国人が多いにも関わらず、医師の87.1%が英語を重視している<sup>2)</sup>。

### 【在留外国人の医療機関受診の現状】

在留外国人を対象とした調査によると、病院で言葉の問題が生じた際の対応として、「日本語ができる知人などを同行させた」人の割合は2022年の27.8%から2024年には24.5%に減少した。一方で、「翻訳アプリの利用」は10.8%から14%に増加するなど、デジタルツールを活用した対応が広がっている。また、自分で通訳を手配した、多言語対応の病院に行った、などの対応も増加傾向にある。しかし今なお医療現場では、言葉の問題が生じている現状がある<sup>3)</sup>。

### 【「やさしい日本語」の作り方】

在留外国人の調査で、日本語を聞くときにどのように話すと分かりやすいか、という問い合わせに対する回答は以下の通りである。「ゆっくり話す」57.1%。次いで、「はっきり話す(56.3%)」、「イラストや絵を見せる(49.3%)」、「短い文で話す(45.8%)」、「難しい言葉は、簡単な言葉に変えて説明する(44.0%)」。その他、「分かりますかなど相手の理解を確認しながら話す」、「ジェスチャーを使う」、「大事な言葉を紙に書く」などが挙がる<sup>1)</sup>。これらの外国人の意見や過去の知見を参考に、以下に「やさしい日本語」の言い換え例とポイントを示す。なお「やさしい日本語」には正解があるものではない。相手の理解を確認しながら、「やさしい日本語」で焦らずに、諦めずに話し続けて欲しいと考える。



### 【おわりに】

翻訳アプリの利用や医療通訳者との連携も図りつつ「やさしい日本語」を活用することで、患者の理解を助け、安全で安心な医療を提供していただきたい。

### 参考文献

- 1) やさしい日本語を活用した在住外国人への情報伝達に関する調査. 東京都つながり創成財団. 2025; pp. 24-26.
- 2) 今満仁美: 外国人診療、必要なのは英語だけ?. <https://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/mem/pub/series/1000research/202211/577483.html> accessed Jun 27, 2025
- 3) 令和6年度在留外国人に対する基礎調査. 出入国在留管理庁. 2024; pp. 236.